



講師（荒谷光子さん）の話に聞き入る児童

相手の気持ちを考える 小学校で人権教室開催

人権擁護委員連絡会（藤岡徹代表）は12月6日～8日、各小学校で「人権教室」を開催し、子どもたちにいじめの防止を呼び掛けました。
葛巻小学校では、3、4年生37人が参加し、いじめを題材にしたアニメを視聴して登場人物の気持ちを考えました。講師を務めた人権擁護委員の荒谷光子さんは「いじめを防ぐためには相手の気持ちを考えることが大切です。いじめに悩んだら、勇気を持って先生やお父さんお母さん、また私たちにお話ししてください」と児童に語り掛けていました。

楽器体験教室開催 演奏の楽しさ知る

12月12日、葛巻ブラス（波紫兼二代表）主催のふれあい楽器体験教室が総合センターで開催され、小中学生7人が金管楽器に触れました。
この教室は、子どもたちに音楽を奏でる楽しさを知ってもらおうと企画され、参加した子どもたちは葛巻ブラスのメンバーからトランペットやトロンボーンなどの金管楽器の音の出し方を教わりました。トランペットを体験した千葉瑛太さん（小屋瀬中1年）は、「きれいな音を出すのは難しかったが楽しかった。もっとやってみよう」と楽器演奏に関心を高めていました。



葛巻ブラスのメンバーからホルンの吹き方を教わる児童

葛巻高生がサンタに 園児へプレゼント

葛巻高校家庭クラブ委員は12月20日、社会福祉を推進する取り組みの一環で、保育園児にクリスマスプレゼントのお菓子を贈りました。
サンタクロースの衣装で五日市保育園を訪問した丹内紫乃さん（2年）と山下夏朋さん（同）は、園児一人ひとりにお菓子を手渡しました。丹内さんは「子どもが好きなので、触れ合えて良かった」、山下さんは「緊張したが、子どもの笑顔が見られて良かった」と話していました。お菓子を受け取った折元結音ちゃんは「サンタのお姉さんがかわいかった」と嬉しそうな様子でした。



サンタの衣装で園児にプレゼントを贈る高校生



△DIY交流会の準備を進める「婚シェルジュ」のメンバー▷完成したスツール

出会いをサポート DIY交流会開催

11月14日、くずまき出会いサポート協議会（遠藤中会長）が男女の出会いをサポートする「町家でDIY交流会」を新町の町家旧遠藤邸で開催し、独身の男女8人が参加しました。
イベントでは、はじめに男性参加者が（一社）日本結婚支援協会の講師から、コミュニケーションについてアドバイスを受け、その後協議会の「婚シェルジュ」加賀谷真奈美さん（山岸）の指導により木製のスツールを制作。男女がペアで作業を進める中で、自然と会話が盛り上がり、貴重な出会いの場となった様子でした。

五日市小で福祉教室 児童が手話など学ぶ

子ども福祉教室が11月22日、五日市小学校（菅野信校長、児童25人）で行われ、3、4年生の児童9人が参加しました。
講師を務める岩手県立視聴覚障がい者情報センターの中村ひとみさんが点字の読み方を、杉立美紀子さんが手話のあいさつなどを教えると、児童は実際に点字の読み取りや手話に挑戦しました。土谷翔真さんは「どちらも難しかったけど、点字は五十音を少し覚えられたし、手話で自己紹介ができるようになった」と点字や手話に親しみ、理解を深めていました。



手話を指導する杉立さん（円内）と練習する児童

ベビーリトミックで 子どもの表現力育む

11月26日、なかよし広場で「ベビーリトミック」が開催され、6組の親子が参加しました。
ベビーリトミックは、親子がふれあいながら音楽に合わせて体を動かし、子どもの想像力や表現力を育てるもので、まだ言葉を話すことができない乳幼児からできる遊びです。2歳の夏希ちゃんとともに、音楽に合わせた絵本の読み聞かせなどを体験した藤野早希子さん（茶屋場）は、「生のピアノ演奏を初めて子どもに聴かせることができました。楽しそう良かった」と、リトミックの魅力を感じた様子でした。



ピアノ演奏に合わせた絵本の読み聞かせ